



7/4 七城町の園児たちが 田植え体験

七城管内の幼稚園・保育園児を対象に田植え体験が行われました。この活動は、園児たちに「食の大切さ」を学んでもらおうと菊池市青年団七城支部（赤星浩貴支部長）が30年以上にわたり取り組んでいる伝統ある活動です。

参加した園児たちは泥だらけになりながら、「上手にできた」「泥で遊びたい」と楽しんでいました。稲穂が実る秋には、園児たちと稲刈り体験や交流会も行われます。



田植え体験で笑顔を見せる園児たち

7/5 東京菊池会 「ふるさと菊池のつどい」

東京菊池会（平山正剛会長）の第8回総会と懇親会「ふるさと菊池のつどい」が開催され、約100人が参加しました。この会は、首都圏在住の菊池市出身の皆さんが、ふるさと菊池の活性化に貢献することを目的に組織された会です。

今回は、菊池市観光大使の「劇団にゃあ」による肥後にわか、市の特産品PRを兼ねた抽選会やじゃんけん大会などを行い、会場は大いににぎわいました。



肥後にわかを披露する劇団にゃあの方

7/2 元気な声で 菊池北小であいさつ運動

菊池北小学校（釘山正二郎校長）で「あいさつ運動の輪」が広がっています。釘山校長が正門であいさつする姿を見ていた児童たちが、「自分たちもあいさつでみんなを明るくしたい」と考え運動を開始。最初は数人でしたが、次第に5・6年生全員に広がり、ついには全校児童が参加するようになりました。最高100人の児童が正門前に並んだ日もあります。小さな一歩から始まったこの運動が市全体へ広がることを期待します。



児童たちは正門に並び大きな声で「おはようございます」とあいさつしていました

7/5 日頃の感謝を込めて 市老連が清掃ボランティア

菊池市老人クラブ連合会（菊川忠一会長）の会員、限府1区、河原・花房地区の代表約20人が、菊池老人福祉センターの清掃作業を行いました。日頃利用しているセンターへの感謝を込めて実施したものです。会員の皆さんは、早朝からセンター周囲の芝刈りや草取りなどを手際よく行いました。参加した会員は「高齢者の交流の場である施設がきれいになって、みんなが気持ちよく利用できるようにお手伝いができれば」と思いを述べました。



清掃作業をする会員の皆さん

6/26 伝統文化を学ぼう 菊池北小で能楽体験



菊池北小学校（釘山正二郎校長）で能楽を学ぶワークショップがあり、約160人の児童が日本の伝統芸能を体験しました。菊池市出身で観世流能楽師の菊本澄代さん・美貴さん姉妹が講師を務め、舞を披露するなど児童と交流しました。着付けを体験した6年生の越猪太護くんは「重くて暑かった。一つのお面でいろんな表情を出せるのがすごい。自分たちの狂言にも生かしていきたい」と笑顔を見せました。



般若と戦うコーナーで、姉妹が扮する般若を一生懸命手をこすって撃退する児童たち

6/30 旭志林業研究グループ 草刈ボランティア

旭志林業研究グループ（江上寿浩会長）の会員9人が、旭志高柳にある「ホタル公園」付近の市道沿いの草刈ボランティアを行いました。この活動は、ボランティアによる地域への貢献と、菊池地域林業界の元気の良さをアピールしようと初めて実施したものです。

草刈や竹の伐採など足元の滑りやすい法面での作業でしたが、会員の皆さんは日頃培った経験と技術を生かしてスムーズに作業していました。



草刈り作業をする会員の皆さん

6/26 大きく育てね 旭志小でホタルの放流

旭志小学校（吉田栄二校長）の4年生7人が、高柳ホタルを育てる会の皆さんとホタルの幼虫を放流しました。これは、一昨年の九州北部豪雨によりホタルが減少した川で、少しでも早くホタルが見られるようにと昨年度から実施しているものです。

児童たちは自分たちで育てた幼虫を大きくするように願いを込めて川に放流しました。井上晃一くんは「自分たちで育てた幼虫を川に放流するのは寂しいけど、大きく育てて欲しい」と話しました。



ホタルを放流する児童たち

6/29 泗水公民館（有朋の館） 落成式

泗水公民館（有朋の館）の落成式があり、市民や関係者など約200人が参加しました。老朽化に伴う移転新築で6月に完成。木造平屋約1530平方メートルで総事業費は約5億円。完全バリアフリーで100人収容の研修室、和室やキッズルームなどがあり、さまざまな目的に利用できます。孔子公園に隣接し、地域住民の交流やまちづくりの拠点施設としても活用できます。式典では菊池市文化協会泗水支部の皆さんによる芸能発表などがありました。



式典でフラダンスを披露する協会の皆さん



7/21 菊池の新アトラクション 井手下り「イデベンチャー」



原井手をボートやカヌーで下るアトラクション「イデベンチャー」の体験会がきくちふるさと水源交流館で開催されました。参加者はショート、ロング、アドベンチャーの3コースを体験。橋やトンネルをくぐったり、急流で歓声を上げたりしながら楽しんでいました。参加者は「のんびりできて良かった」「トンネルが涼しくて気持ちよかった」「急流のところが楽しかった」と笑顔を見せていました。



井手下り体験を楽しむ参加者

7月 健診受けてね! みっぴー&もっぴーがPR

7月の軽トラ朝市で、菊池市複合健診（がん検診など）のPRイベントがあり、菊池溪谷水と森のイメージキャラクター「みっぴー&もっぴー」が受診を呼び掛けました。当日はあいにくの雨模様でしたが、愛想をふりまく「みっぴー&もっぴー」にたくさんの方が足を止め、抱きついたり一緒に写真を撮ったりとふれあいを楽しんでいました。

健診は自分の健康を知るいい機会です。ぜひ受診をお願いします。



子どもたちに人気のみっぴー⑤ともっぴー⑥

7/19 第10回菊池市子ども会 ビーチボールバレー・ソフトボール大会

菊池市立泗水中学校グラウンドと菊池市営泗水体育館で開催されました。炎天下での大会でしたが、参加した子どもたちは元気はつらつにプレーしていました。ビーチボールバレーで優勝した田島子ども会は八代郡氷川町で開催された県大会に出場しました。優勝チームは次のとおりです。

ビーチボールバレー 田島子ども会Aチーム
同オープン参加 富の原東・台区連合Aチーム
ソフトボール 岩本子ども会チーム



①ビーチボールバレーで優勝した田島子ども会Aチーム ②オープン参加で優勝した富の原東・台区連合Aチーム
③ソフトボールで優勝した岩本子ども会チーム



7/5 犯罪防止と更生への理解を 社会を明るくする運動

第64回社会を明るくする運動菊池市集会は、菊池市文化会館で開催され、市民約600人が参加しました。この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

集会は市内の高校生が進行。ステージでは限府小6年生の演奏や小中高校生の作文表彰・発表のほか、吉川誠司さんの記念講演がありました。



①運営に携わった市内3校の高校生 ②アコーディオンなどを演奏する限府小児童 ③菊池女子高の茶会 ④作文表彰・発表した小中高生 ⑤吉川さんは「今、携帯電話を持つ子どもたちに起きている事実」と題し、社会問題になっている実情を講話しました



7/11 泗水西小学校へマイバッグ 持参運動寄付金贈呈

泗水町にある黒潮市場が、泗水西小学校へマイバッグ持参寄付金を贈呈しました。地球温暖化防止のため、マイバッグ持参運動に取り組む同店は、マイバッグを持参していない来店者にレジ袋を1枚1円で販売し、その代金の一部を地域の小学校などに寄付しています。

荒平憲司教頭は「ありがとうございます。いただいた寄付金は学校図書や花苗の購入に充てたい」と話しました。



黒潮市場の米納拓己さん④から寄付金を受け取る荒平教頭⑤

7/7 きくち観光物産館で 園児が七夕飾り

菊池さくら保育園の園児17人が、きくち観光物産館に七夕飾りを飾りました。物産館が、来客者に楽しんでもらいながら家族とのつながりの大切さを感じてもらおうと実施。保育園の祖父母参観のときに書いた短冊には、「日本代表サッカー選手になれますように」「ともだちといつまでもなかよく」「ばあばあがながいきますように」など、いろいろな思いが綴られており、園児たちは自分が書いた短冊を見つくと歓声を上げていました。



七夕飾りの前で笑顔を見せる園児たち